

図書館だより 5月号



5月のスペシャル展示コーナーのテーマは「科学絵本」です。

図書館には大人も子どもも楽しめる科学絵本がたくさんあります。例えば、「はははのはなし」（加古里子：文・絵）、は、「歯」をテーマに、加古里子さんがユーモラスな絵で、小さな子どもさんにもわかりやすく描いています。「すみれとあり」（矢間芳子：作／森田竜義：監修）は、すみれとありの意外な共存関係をテーマにしている、大人も興味深く読める内容です。身近な自然や人間のからだ、動物などをテーマにした科学絵本を集めて展示いたします。展示コーナーをぜひご覧ください。



図書館ニュース

◎ご自宅に、もう読まない児童書はありませんか？

図書館では、毎年11月の雑誌無償提供に合わせて、児童書フリマを開催しています。児童書フリマでは、利用者の皆さまからご寄贈いただいた児童書を、リサイクルとして無償提供します。フリマに提供する本は、年間を通して随時募集していますので、ご自宅にもう読まない児童書がある方で、児童書フリマに提供することをご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、図書館までご寄贈をどうぞよろしくお願いいたします。

なお、児童書は、学習まんが以外の漫画本は受付しておりません。詳しくは図書館までお問い合わせください。

♪ 今月のピックアップ



◎「お米の品種と産地」 「お米のこれからを考える」編集室：著 理論社

普段なにげなく食べているお米ですが、いろいろな品種があります。コシヒカリ、ひとめぼれ、あきたこまち、ゆめぴりか…など、それぞれに品種開発・改良の歴史や、味の特徴があり、地域ごとに開発・栽培されているお米もたくさんあります。この本では、各地で栽培されているお米の特徴や、品種開発の現場で新品種のお米が生まれるまでを解説しています。自分で読むなら小学校高学年くらいから。全4巻シリーズの第1巻です。

◎「日本のごはん」 銀城 康子：文／高松 良己：絵 農山漁村文化協会

お米や、和洋折衷のおかず類、そのほか、日本人の食生活の原点や、他の国との食生活の違いなどについて解説している本です。

稲作に適した気候のなかでお米を主食としてきた日本人ですが、日本人の食事の変遷や、日本の軟水に適した料理の仕方の歴史など、大人が読んでも面白い、「日本のごはん」の秘密に迫った一冊です。



丸テーブルの展示

5月の丸テーブルの展示テーマは「青の本」です。
初の試みとして、表紙が青色の本を、あらゆるジャンルから集めて展示する企画です。表紙が一色の本は意外と多くあり、それをノンジャンルで一か所に集めて展示するということは、本との意外な出会いを生むのではないかと期待しています。5月の空にふさわしい「青」を選んだ今回の企画展示をどうぞご覧ください。



カウンター前の絵本展示

5月のカウンター前絵本展示のテーマは「母の日」です。5匹の子ねずみをつれて出かけることにした、かやねずみの母親は、道中いろいろなことを子どもたちに教えるのですが、その時大変なピンチが…！子どもを守る母親の姿を描いた「かやねずみのおかあさん」。遠足の日においしいお弁当を作ってくれて、風邪をひいたら看病をしてくれて、お遊戯会の時はいっぱい拍手をしてくれて…どんな時も力いっぱい愛情をそそいでくれるおかあさんに感謝する絵本「おかあさん ありがとう」。母の日に読みたい絵本を集めて展示いたします。ぜひ親子で手にとってご覧ください。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
2020						1	2
5月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
		1	2	3	4	5	6
6月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

は休館日

は館内整理日による休館

○ は、行事のある日です。

子ども映画会

- 日時：5月10日（日）午後1時30分～
- 場所：図書館2階 視聴覚ホール

◎お友達を誘って、みんなで見に来てね。

あひざにだっこのあひなし会

- 日時：5月27日（水）午前11時～
- 場所：図書館2階 視聴覚ホール
- 内容：大型絵本「おべんとうばこのうた」の読み聞かせのほか、手遊びなど
- 対象：就園前の幼児とその保護者の方



読みたい本が図書館になかったら…

図書館に読みたい本が所蔵されていないときは、「リクエスト」をすることができます。図書館にあるリクエスト用紙に、書名・著者名・出版社名をご記入のうえ、「リクエストボックス」に用紙をいれてください。予算や利用頻度などを考慮したうえでの購入となりますので、すべてのリクエストにお応えできるとは限りませんが、利用者の皆さまのニーズにできるだけお応えしていきます。